

第 15 期 pES club step4 大会看護学生シナリオ

平成 28 年 6 月 26 日

聖路加国際大学 聖路加国際病院 看護管理室・QI センター

池亀 俊美

東京北医療センター 総合診療科

南郷 栄秀

<http://spell.umin.jp>

あなたは、海老伝巣医科大学附属病院心臓血管外科病棟の 2 年目看護師です。潮毛入益さん（56 歳男性）は、急性心筋梗塞にて、緊急冠動脈造影検査後、同日緊急冠動脈バイパス術を受け、その後順調に経過しています。入院 9 日目には病棟内 3 周（約 270m）の歩行ができるようになりましたが、食事摂取量がいつも半分程度です。間食している様子もありません。すでに、栄養士による栄養指導が、妻同席のもと実施されています。栄養士が塩分制限（1 日 6g）、カロリー制限（1 日 1600kcal）について説明したところ、「はい、わかりました。でも、病院の食事はあまり好きじゃないですね」との発言がありました。潮毛さんは食事について、「食べたくないんですよ。どうせ痩せなきゃいけないし。ごはんがおいしくないし」と話しています。

入院 10 日目、あなたが 14 時の検温の前に潮毛さんの食事摂取量を確認すると、朝食、昼食とも、ごはん、おかずがほぼ全量摂取されていました。

潮毛「今朝から、ごはんがとても美味しくいただけるようになりました」

あなた「食欲が出てきたみたいですね。ずっと食欲がないようだったので、気にしていたんですよ」

潮毛「これ（佃煮と梅干の瓶を手に取り）、妻が、食欲がないのを心配して持ってきてくれたんです。これがあればご飯も進みますね。リハビリも頑張れそうです。このまま禁煙もできそうです」

入院中、持ち込み食は制限されています。また、潮毛さんには塩分制限の指示も出ています。リーダーナースに潮毛さんの佃煮と梅干の持ち込み食について報告したところ、「塩分制限のある心臓病の患者さんですから、きちんと説明してください」と注意を受けました。

あなたは潮毛さんに塩分制限について説明することになりました（10 分間）。

【潮毛さんの背景】

10 年前に急性心筋梗塞で緊急冠動脈形成術を受けました。その後 7 年間禁煙していましたが、4 年前から喫煙しています。アルコールの摂取の頻度は、ビール大瓶 1~2 本、もしくはワイン 1 本を週 6 回です。身長 168 cm、体重 76.5 kg、BMI 27.1。仕事は、不動産会社を妻の弟と共同で経営しています。趣味は、妻と 2 人で外食や旅行に出掛けることです。自称美食家です。子供はいません。